

すこやかに
とほっこりんまつこ
vol.62
AK 絵



涼しくなってきて、体を動かす良い季節になってきました。特にウォーキングは身近で手軽に始められる運動です。日ごろの運動不足や家族との時間を楽しむ絶好の機会ですので、ぜひ行ってみてください。



編集と発行

総務課広報情報係

〒517-0011 鳥羽市鳥羽三丁目1-1 ☎0599-25-1114
ホームページhttp://www.city.toba.mie.jp/
Eメール koho@city.toba.mie.jp

資源保護のために再生紙を使用しています。

鳥羽を歩く散策案内図

まちなみ
イラストマップ
Vol.8



旧鳥羽小学校



昭和4年（1929）、清水英二の設計で総工費25万円を投じて、三重県最初の鉄筋コンクリート3階建ての校舎として建築された旧鳥羽小学校は、近郊のみならず他県からも見学に来たほど話題の建物でした。アーチの意匠を取り入れたヨーロッパ様式がすばらしい建物で、講堂には今は貴重な奉安庫が残されています。

御木本幸吉の告別式もこの小学校で行われていて、昭和の鳥羽の歴史を象徴する建物です。

英二の設計で総工費25万円を投じて、三重県最初の鉄筋コンクリート3階建ての校舎として建築された旧鳥羽小学校は、近郊のみならず他県からも見学に来たほど話題の建物でした。アーチの意匠を取り入れたヨーロッパ様式がすばらしい建物で、講堂には今は貴重な奉安庫が残されています。



寺本 9月16日号最終ページの記事で、刈り取った稻を束ねて天日干しする作業を「はぜかけ」（稻架）と記述したんですけど、伊勢志摩地方では「はさかけ」と呼ぶらしい。広報とばの読者様が電話で教えてくれましたよ。

高島 めちゃくちゃ嬉しいですね。すごく励みになります。寺本 ほんとやね。3人で力を合わせて、広報とばのレベルアップを目指していこうな！ タカジマ君！ マツガワ君！ 高島・松川 シマ！ カワ！

昭和4年（1929）、清水

英二の設計で総工費25万円を投じて、三重県最初の鉄筋コンクリート3階建ての校舎として建築された旧鳥羽小学校は、近郊のみならず他県からも見学に来たほど話題の建物でした。アーチの意匠を取り入れたヨーロッパ様式がすばらしい建物で、講堂には今は貴重な奉安庫が残されています。

